

令和6年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

## 地 理

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

### 注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから13ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の文章は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の「地理総合」からの一部抜粋である。これについて、後の(1)～(3)の設問に答えよ。

## 1 目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図やなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、(a)人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

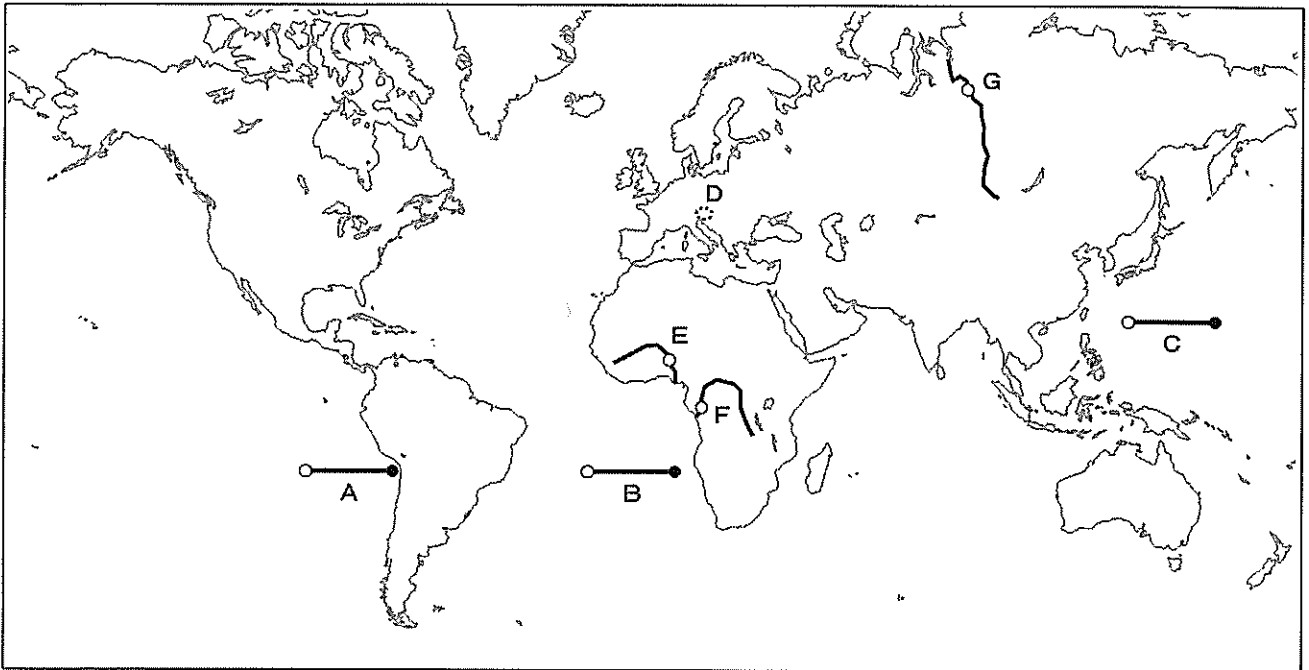
## 2 内容

- A 地図やで捉える現代世界
- B 国際理解と
- C (b)持続可能な地域づくりと私たち

- (1) 文中の空欄～に当てはまる語句をそれぞれ答えよ。
- (2) 下線部(a)について、「人間と自然環境との相互依存関係」とはどのようなことか説明せよ。また、これについて考えることの意義を簡潔に書け。
- (3) 下線部(b)について、学習指導要領では「(1)自然災害と防災」、「(2)生活圏の調査と地域の展望」の2項目を扱うこととされている。2つの項目(単元)のどちらかを選び、単元を通して身に付けさせたい「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」について簡潔に書け。

2 世界の自然環境や環境保護への取組について、後の(1)～(4)の設問に答えよ。

図1



(1) 次の図2中のア～ウは、図1中の線分A～Cのいずれかの海底の断面図であり、断面図ア～ウの○●は、図1中の線分A～Cの○●に一致する。線分A～Cの断面図として最も適切なものを、ア～ウからそれぞれ選び記号で答えよ。

図2

ア

イ

ウ

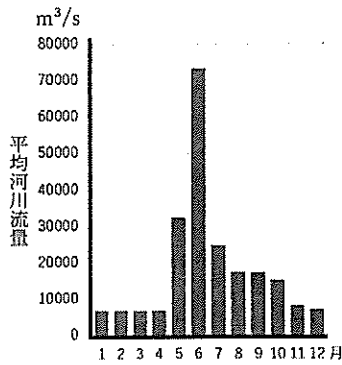
数値は範囲内での最高水深と最低水深。縮尺は一定ではない。

(2) 図1中のDの地域で見られる特徴的な地形について、次の①、②の問いに答えよ。

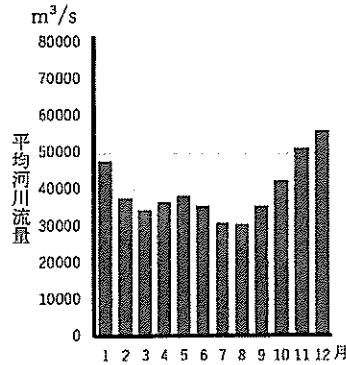
- ① Dの地域では、石灰岩が二酸化炭素を含む雨水や地下水で溶食されて形成された地下の空洞や、凹地などさまざまな地形が見られる。これらの地形の総称を答えよ。
- ② 日本国内でDの地域と同様の地形的特徴が見られる場所を一つ挙げ、この地形と地域の産業との結び付きについて簡潔に書け。

- (3) 次の図3中のカ〜クは、図1中のE〜Gのいずれかの地点における月別の平均河川流量を示している。E〜Gの各地点のグラフとして最も適当なものをカ〜クからそれぞれ一つずつ選び記号で答えよ。

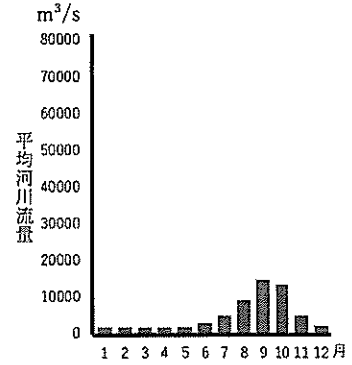
図3 カ



キ



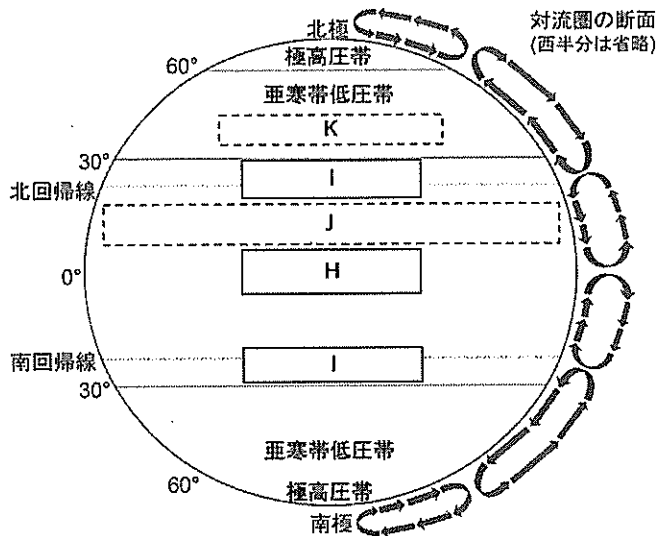
ク



(GRDC (Global Runoff Data Centre) の資料より作成)

- (4) 次の図4は大気大循環の仕組みを示している。これについて、後の①〜③の問いに答えよ。

図4



- ① 図4中のH・Iに適する気圧帯の名称それぞれ答えよ。  
 ② 図4中のJ・Kにあてはまる風の向きの矢印として適当なものを、次のア〜エからそれぞれ一つずつ選べ。

ア ↗      イ ↙      ウ ↘      エ ↖

- ③ 図4の対流圏の断面から、赤道付近では上昇気流が発生し、回帰線付近では下降気流が発生していることが分かる。地球上でこのような大気の循環が生じる理由を簡潔に書け。

3 資源と産業について、以下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

(1) 次の表1は、米の生産量、輸出量、輸入量上位6か国と世界全体に占めるその割合(2020年)について示したものである。この表の内容について、後の①、②の問いに答えよ。

表1 米の生産量、輸出量、輸入量上位6か国と世界全体に占めるその割合

X		Y		Z	
国名	割合(%)	国名	割合(%)	国名	割合(%)
A	6.4	A	28.0	B	31.7
フィリピン	4.2	B	23.6	ベトナム	12.5
サウジアラビア	3.4	バングラデシュ	7.3	C	12.4
コートジボアール	3.0	インドネシア	7.2	パキスタン	8.7
ガーナ	2.9	ベトナム	5.7	アメリカ	6.1
マレーシア	2.7	C	4.0	A	5.0

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版」により作成)

① 表1中のA～Cに該当する国名をそれぞれ答えよ。

② 表1中のX～Zは、米の生産量、輸出量、輸入量のいずれかが、それぞれ該当する。米の生産量、輸出量、輸入量とX～Zとの組合せとして正しいものをア～カより一つ選び、記号で答えよ。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
生産量	X	X	Y	Y	Z	Z
輸出量	Y	Z	X	Z	X	Y
輸入量	Z	Y	Z	X	Y	X

(2) 表1を参考に、米の生産が集中している地域について、具体的な国名を挙げながら説明せよ。また、表2は世界の米と小麦の生産量と輸出量(2020年)を示したものである。表2に示される、米と小麦の生産量と輸出量の差に着目し、米は小麦と比べてどのような性質の違いが見られるか、その特徴について説明せよ。

表2

米(単位:万トン)		小麦(単位:万トン)	
生産量	輸出量	生産量	輸出量
75,674	4,559	76,093	19,853

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版」により作成)

- (3) 次の表3のA～Eは、オーストラリア、中国、フランス、ブラジル、ノルウェーの火力、水力、原子力の発電量(2019年)及び総発電量(2019年)を示したものである。次のA～Eの中から、ノルウェーに該当するものを一つ選べ。また、そのように判断した理由を説明せよ。

表3

	火力(億kWh)	水力(億kWh)	原子力(億kWh)	総発電量(億kWh)
A	2,155	160	-	2,640
B	52,200	13,044	3,484	75,041
C	621	616	3,990	5,708
D	1,493	3,979	161	6,263
E	30	1,264	-	1,353

※「-」は皆無または定義上該当数値がないもの

(「世界国勢図会 2022/23」により作成)

- (4) 次の表4のX・Yは小売業または卸売業、A～Cは東京都、愛知県、神奈川県のうちいずれかが該当する。XおよびA・Bとの組合せとして正しいものをア～カより一つ選び、記号で答えよ。

表4

	X 年間商品販売額 (億円)	Y 年間商品販売額 (億円)	昼夜間人口比率 (%)
A	158,551	1,520,045	116.1
B	73,036	283,702	101.2
C	76,089	93,249	91.7
全国	1,221,767	3,566,516	100.0

※小売業及び卸売業年間商品販売額の統計年次は2014年

※昼夜間人口比率の統計年次は2020年

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版」により作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
X	小売業	小売業	小売業	卸売業	卸売業	卸売業
A	東京都	東京都	愛知県	愛知県	神奈川県	神奈川県
B	愛知県	神奈川県	東京都	神奈川県	東京都	愛知県

4 生活文化の多様性、都市・村落、人口について、以下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

- (1) 次の表1は世界の主な宗教・宗派別人口(2015年)を表したものであり、(A)～(C)にはイスラーム、仏教、カトリックのいずれかが当てはまる。(A)～(C)に該当する宗教・宗派名をそれぞれ答えよ。

表1

宗教・宗派	人口(百万人)
(A)	1,701
(B)	1,238
ヒンドゥー	985
プロテスタント	541
(C)	520
正教会	283

(「地理統計2021年版」により作成)

- (2) イスラエルに関する次の文について、後の①、②の問いに答えよ。

イスラエルは、1948年の建国以来、現在まで解決されていない民族対立による問題を抱えている。イスラエルの都市の一つであるエルサレムは3つの宗教の聖地とされており、世界中から宗教関係者や観光客が訪れる。中でも旧市街地には重要な宗教施設が集中している。例えば(ア)の創始者の墓所とされる施設には世界中から信者が訪れるが、この国の国民における信者数の割合は数パーセントとなっている。この国に最も信者が多い(イ)の聖地とされる場所は、かつて(イ)の神殿があったとされる場所である。現在、神殿の丘と呼ばれる場所には岩のドームと呼ばれるイスラームに関係の深い施設が建っている。

- ① 文中の(ア)、(イ)に当てはまる宗教名をそれぞれ答えよ。
- ② 文中の下線部に関して、この対立について、関係する民族名を挙げ簡潔に説明せよ。

- (3) 次の図1中のX—X'間および図2中のY—Y'間の道路では、沿道に建物が建ち並んで集落が形成されている。それぞれの集落が歴史的にどのような経緯で発達したのか、簡潔に説明せよ。

図1 奈良県桜井市における集落の地図

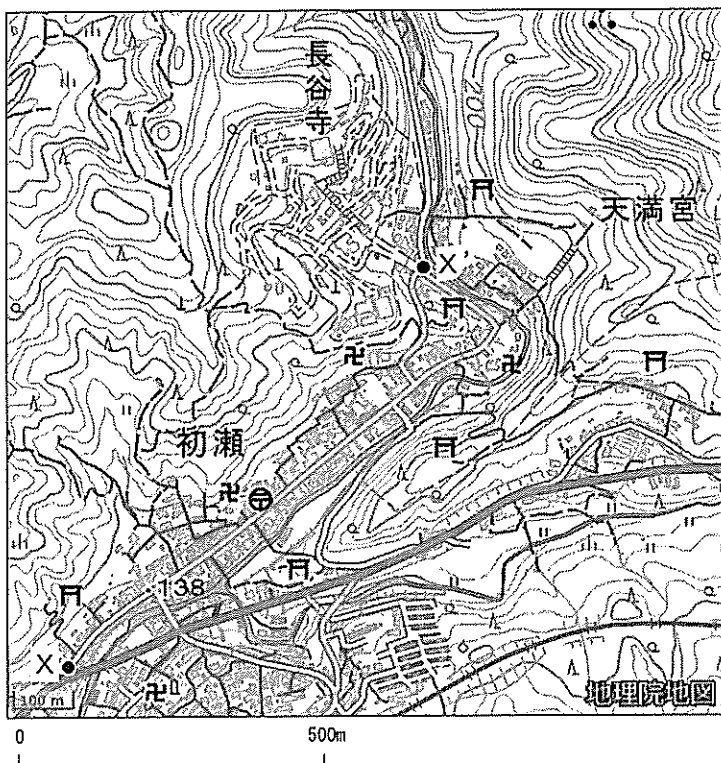
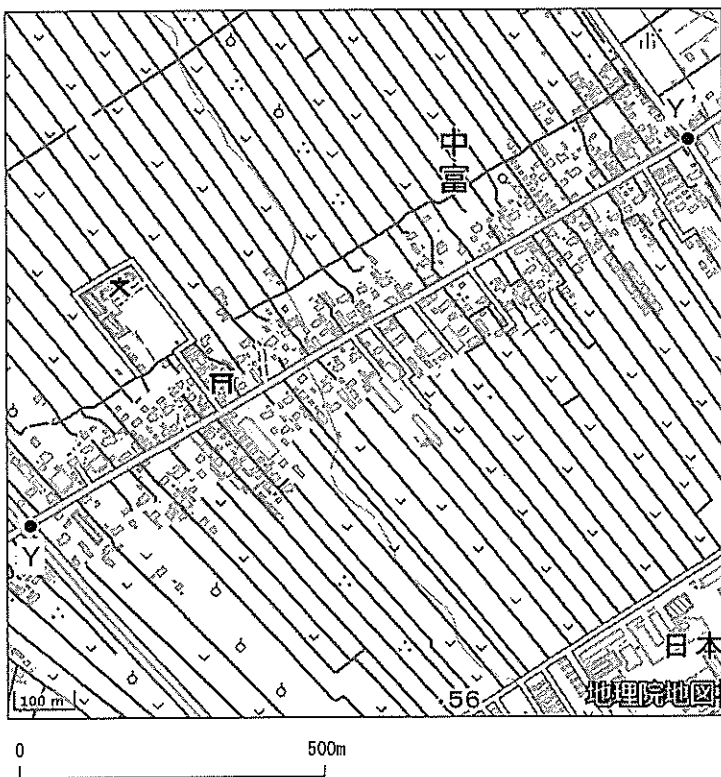


図2 埼玉県所沢市における集落の地図

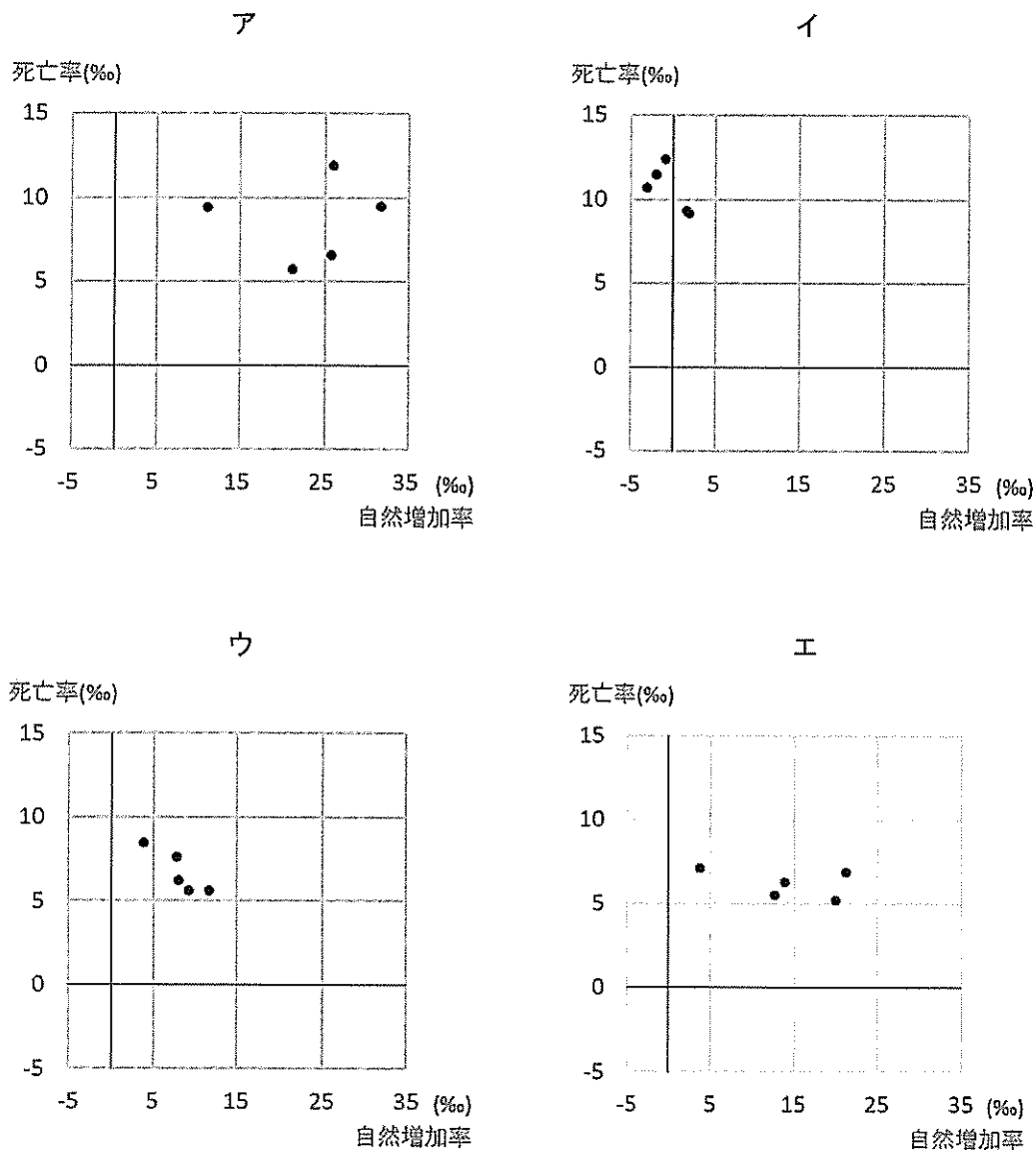


(「地理院地図」により作成)



- (4) 図3中のア～エは、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカのそれぞれの地域における人口上位5か国について、人口の自然増加率と死亡率を示したグラフである。これについて、後の①、②の問いに答えよ。

図3



※2022年時点の人口上位5か国を示している。死亡率、自然増加率の統計調査年次は2010年～2018年。

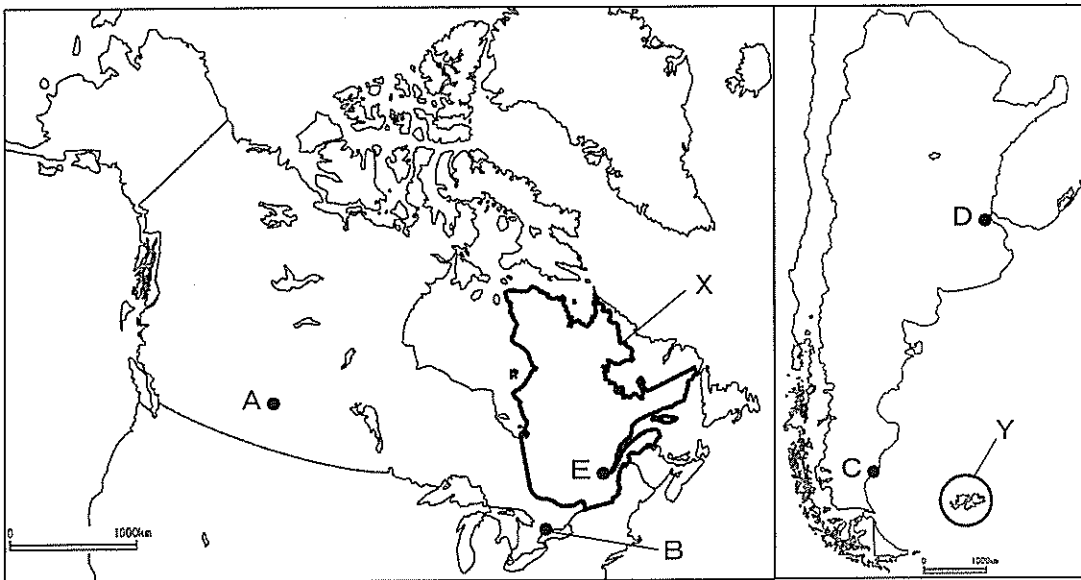
(「世界国勢図会 2020/21年版」により作成)

- ① アジアとヨーロッパに該当するグラフをア～エからそれぞれ一つずつ選び記号で答えよ。
- ② アとイにはそれぞれ、死亡率が10%を越える国が存在しているが、死亡率が高い要因はアとイでは異なる。アとイのそれぞれについて、死亡率が高くなっている要因を簡潔に説明せよ。

5 広大な国土面積を有し、世界有数の食料輸出国であるカナダとアルゼンチンについて、以下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

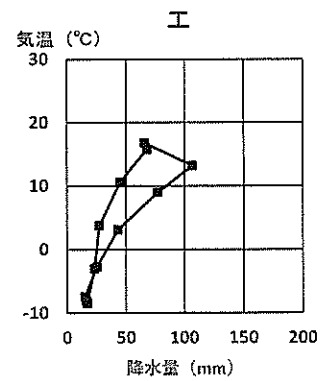
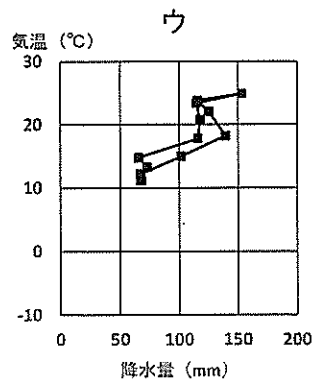
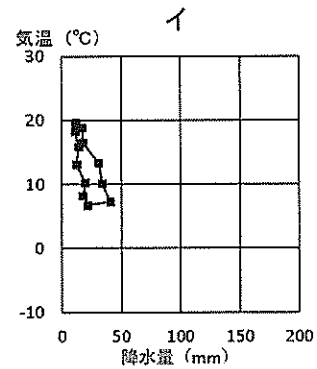
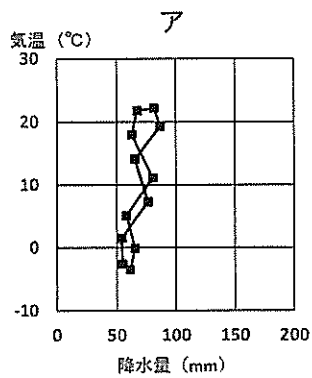
(1) 図1について後の①～③の問いに答えよ。

図1



① 図2中のア～エは図1中のA～Dのいずれかの地点のハイサーグラフである。A～Dに該当するハイサーグラフをそれぞれ一つずつ選び記号で答えよ。

図2



(気象庁資料などにより作成)

② 図1中の都市D及び都市Eは、類似する海岸地形の場所において都市が発展した。両地域に共通する地形の名称とその特徴、そのような場所に都市が発達する理由について説明せよ。

③ 図1中のX、Yが示す地域においては、民族や領土の帰属をめぐる対立が発生してきた。どのような対立か、それぞれ関連する地名を挙げ具体的に説明せよ。

(2) 次の表1中のアとイはアルゼンチンとカナダのいずれかにおける土地利用の割合を示したものである。アとイのうち、アルゼンチンに該当するものを一つ選び記号で答えよ。またそのように判断した理由を簡潔に説明せよ。

表1 (単位：%)

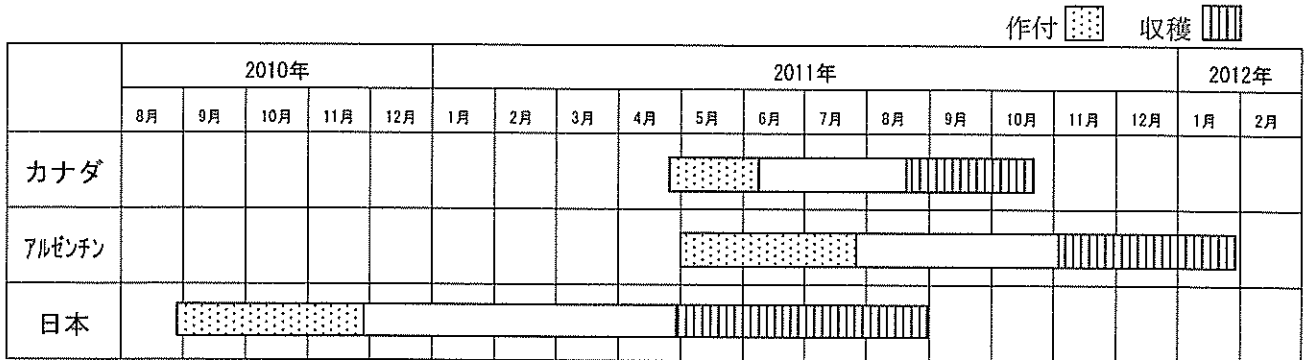
	耕地 樹園地	牧場 牧草地	森林
ア	3.8	1.9	34.8
イ	14.4	38.8	9.7

国土面積に対する割合。統計年次は2018年。

(世界国勢図会 2020/21年版により作成)

(3) 図3はカナダ、アルゼンチン、日本において2011年から2012年にかけて出荷された小麦の栽培時期を示したものである。これに関して後の①、②の問いに答えよ。

図3



(農林水産省資料により作成)

① カナダにおける小麦栽培の特徴について、図3における日本との違いに触れ、カナダの自然環境を踏まえつつ、簡潔に説明せよ。

② アルゼンチンは他の小麦の主要産地に比べ、小麦市場において優位にあると考えることができる。その理由について、図3を踏まえつつ、簡潔に説明せよ。

(4) 次の表2は、カナダとアルゼンチンに対する日本の輸出品と輸入品における貿易額上位5品目の割合(2020年)を示したものである。iとiiは日本からの輸出品または日本への輸入品を、アとイはカナダまたはアルゼンチンを表している。後の①、②の問いに答えよ。

表2 (％)

		日本からの輸出品 または 日本への輸入品			
		(i)		(ii)	
カナダ または	(ア)	自動車部品	28.0	えび	28.6
		一般機械	23.3	アルミニウムと同合金	21.2
		電気機器	14.8	果実	8.9
		有機化合物	6.4	飼料用こうりゃん	4.3
		乗用車	5.2	飼料	3.9
アルゼンチン	(イ)	乗用車	38.0	豚肉	10.8
		自動車部品	14.0	医薬品	9.9
		一般機械	12.9	石炭	9.9
		電気機器	12.0	なたね	8.7
		金	3.9	銅鉱	8.3

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版」により作成)

① 「日本への輸入品」と「カナダ」の組合せとして最も適切なものを、次のa～dから選び記号で答えよ。

a i・ア

b i・イ

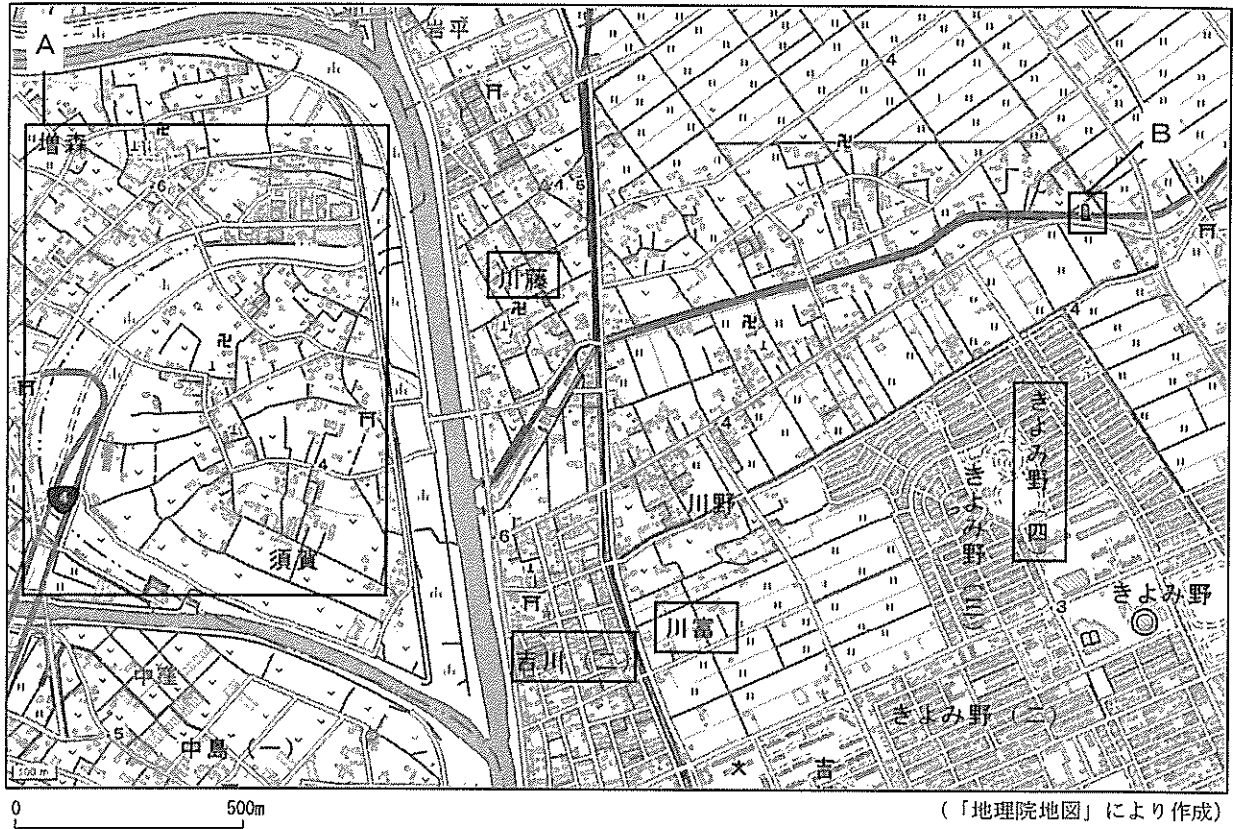
c ii・ア

d ii・イ

② ①のように判断した理由を簡潔に説明せよ。

6 図1は、埼玉県吉川市付近の地形図である。後の(1)～(5)の設問に答えなさい。

図1



(1) 地形図について、以下の①・②の問いに答えよ。

① 地形図の読み方に関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 同じ標高の点を結んだ曲線を等高線といい、これは計曲線と主曲線の2種類のみで構成されている。
- イ 標高の高いほうから低いほうに等高線が突き出ているところを尾根といい、標高の高い方に食い込んでいるところを谷という。
- ウ 三角測量を用いて標高を求めるための基準点を三角点といい、一等から五等までが全国に置かれている。
- エ 水準点は、経緯度を測定するための基準点であり、一般に主要道路沿いに約2kmごとに置かれている。

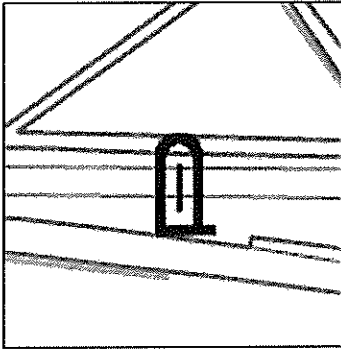
② 次のア～オの文は、地域調査における内容や説明の一部を示したものである。地域調査の手順として正しい順番に並べかえなさい。

- ア 調査内容を整理・分析を行う。
- イ 調査地域の選定を行う。
- ウ 文献や統計資料、地形図等を用いて概要を調査する。
- エ 調査課題(テーマ)の設定を行う。
- オ 聞き取り調査や観測、資料収集を行う。

(2) 図1中のAの部分について、「増森」～「須賀」の間で見られる、円弧状の地形の成り立ちについて説明せよ。

- (3) 図1中の「吉川(二)」付近の地形と「川富」付近の地形の特徴について、生徒が学習する際にどのような点に着目させ、指導するか。土地利用に着目して、説明せよ。
- (4) 図1から読み取れることについて述べた文として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。
- ア 図中には、市区町村界が見られない。
  - イ 図中には、4.5mの水準点が見られる。
  - ウ 図中には、図書館があり、高層建物になっている。
  - エ 図中の川藤の集落は、きよみ野(四)の集落よりも成立の時期が古い。
- (5) 図2は、図1中のBの範囲を拡大したものである。この図2中の地図記号が示すものが設置された理由について、この地域の地形に着目して、説明せよ。

図2



地理解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(6年)

1

(1)ア	イ	ウ	エ
(2)説明			
意義			
(3)単元			
知識・技能			
思考力・判断力・表現力			

2

(1)A	B	C
(2)①		
②場所	産業との結び付き	
(3) E	F	G
(4) ①H	I	②J
③	K	

3

(1) ① A	B	C	(1) ②
(2)生産地域の説明			
(2)性質の違い			
(3) ノルウェー	理由		
(4)			

地理解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
--------	---------	------	--	----	--

(6年)

4

(1) A	B	C
(2) ①ア	イ	
②		
(3) 図 1		
図 2		
(4) ① アジア	ヨーロッパ	
② ア		
イ		

5

(1) ① A	B	C	D
②			
③ X			
Y			
(2) 記号	理由		
(3) ①			
②			
(4) ①	②		

6

(1) ①	②	→	→	→	→
(2)					
(3)					
(4)					
(5)					



以下はあくまでも解答の一例です。

地理解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
--------	---------	------	--	----	--

(6年)

1 (28点)

(1)ア (3点×4) 防 災	イ 地理情報システム	ウ よりよい社会	エ 国際協力
(2)説明 (4点) 例) 人間は、一方で自然諸要素の影響を受けるとともに、他方で、身の周りの環境を調和の取れた景観に変えたり、ときには不調和な景観へと変化させたりすること。			
意義 (4点) 例) 人間と自然環境との相互依存関係について考えることは、地域の特色を理解したり、地域の環境開発や環境保全を考えたりする際の重要な基礎となる。			
(3)単元 (1) 自然災害と防災 / (2) 生活圏の調査と地域の展望			
知識・技能 (4点) (1)の場合の例) 自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性についての理解や、ハザードマップ等の地理情報について、その情報を収集し、読み取りまとめる技能を身に付けること。 (2)の場合の例) 地理的な課題の解決に向けた取り組みや、探究する手法などについて理解すること。			
思考力・判断力・表現力 (4点) (1)の場合の例) 自然や社会的条件との関わりや持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 (2)の場合の例) 生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや姿容、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察・構想し、表現すること。			

2 (39点)

(1)A (2点×3) ア	B イ	C ウ
(2)① (3点) カルスト (地形)		
②場所 (3点) 例: 平尾台 (福岡県)、秋吉台 (山口県)		
産業との結び付き (4点) 例) 石灰岩が広く分布するため、石灰岩が原料となるセメント産業が原料立地型の産業として発達する。		
(3) (2点×3) E ク	F キ	G カ
(4) (3点×2) ①H 熱帯収束帯 (赤道低気圧帯)	I 亜熱帯高圧帯 (中緯度高圧帯)	②J イ
K ア		
③ (5点) 例) 赤道付近は太陽からの熱エネルギーを最も強く受けるため、地上付近の空気が暖められて上昇気流が発生しやすく、降水量が多くなる。一方、回帰線付近は、赤道付近で上昇した大気が冷えて下降するため、降水量が少なくなり蒸発量を上回るため乾燥する。		

3 (27点)

(1) ① (2点×3) A 中国	B インド	C タイ	(1)② (3点) エ
(2)生産地域の説明 (4点) 米の生産地域は、中国やインド、インドネシアなどの人口が多く、年降水量1000mmを超えるモンスーンアジア地域に集中している。			
(2)性質の違い (3点) 米は小麦に比べて、自給的性格が強いため、小麦の輸出量に比べると、米の輸出量は少ない。			
(3) (3点) ノルウェー E	理由 (5点) スカンディナヴィア山脈に対して偏西風の風上側にあたるノルウェーは降水量が多く、水力資源が豊富で、他のエネルギー恵まれなかったため、水力発電が盛んに行われ、その割合が極めて高い。北海油田開発後は火力発電も行われるようになったが、その割合は小さい。また5か国の中では最も人口が少ないため、総発電量も最も小さくなる。		
(4) (3点) ア			

地理解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
--------	---------	------	--	----	--

(6年)

4 (43点)

(1) (3点×3) A イスラーム	B カトリック	C 仏教
(2) (3点×2) ①ア キリスト教	イ ユダヤ教	
② (6点) シオニズム運動により多くのユダヤ人がパレスチナ地方に入植し、現在のイスラエルが建国された。土地を奪われたアラブ民族のパレスチナ人は周辺国に難民として流出し、現在もユダヤ人とパレスチナ人の間で対立が続いている。		
(3) 図2 (4点) 寺院の参道に参拝者に向けた商店などが建ち並んだ門前町として発達した。		
図3 (4点) 台地上の開発に伴い開拓道路に面して農家が並ぶ路村形態の新田集落として発達した。		
(4) ① (3点×2) アジア エ	ヨーロッパ イ	
② (4点) 医療の普及の遅れや衛生状況が悪いことから、乳幼児死亡率が高くなり、平均寿命が低くなっている。 ア		
(4点) 出生率が低く高齢化率が著しく高いため、死亡率が高くなっている。 イ		

5 (41点)

(1) ① (2点×4) A エ	B ア	C イ	D ウ
② (4点) 河口部が沈水したエスチュアリーの内湾に立地している。このような場所は水深が深く大型船が接岸する港をつくりやすく、河川による内陸交通との結節点となりやすいことなどから、都市が発達しやすい。			
③ (4点) 英語系住民が多いカナダにあってフランス語系住民が多数を占めるケベック州では分離独立運動が起こった。 X			
(4点) フォークランド諸島の領有をめくり、アルゼンチンとイギリスが争った。 Y			
(2) 記号 (1点) イ	理由 (5点) 冷帯林の広がるカナダに対し、草原の広がるアルゼンチンでは牧場・牧草地の割合が高くなるから。		
(3) ① (5点) 日本では冬播きで小麦を栽培するが、寒冷なカナダではガーネット種などの耐寒品種を主に春播きで栽培している。			
② (5点) 北半球の主産地は日本と同様に春から夏頃に収穫期となる。南半球に位置するアルゼンチンは北半球の主産地が収穫期となる時期に出荷できる点で優位となっている。			
(4) (2点) ① d	② (3点) (ii)は一次産品が多いため輸入を表し、イは高度な技術を要する医薬品や石炭・銅などの鉱産資源が含まれているためカナダを表すから。		

6 (22点)

(1) (3点) ① イ	(3点) ② エ → イ → ウ → オ → ア
(2) (4点) かつて河川が蛇行していたときの旧流路であり、新流路の形成に伴い、取り残された部分である。	
(3) (5点) 吉川(二)付近の地域は、集落が形成されているため自然堤防上だと判断でき、川富付近の地域は水田が広がっているため、後背湿地上であると判断できる点。	
(4) (3点) エ	
(5) (4点) 後背湿地に位置するため、河川の氾濫による水害についての被害状況や教訓などを後生に伝え残すために建設された。	